

Vol.113

この数字はなんだ？

# ナンバー・ナンダー

ご参考資料

2017年1月31日

英国

2016年10-12月期

実質GDP成長率

(前期比、速報値)

+0.6%

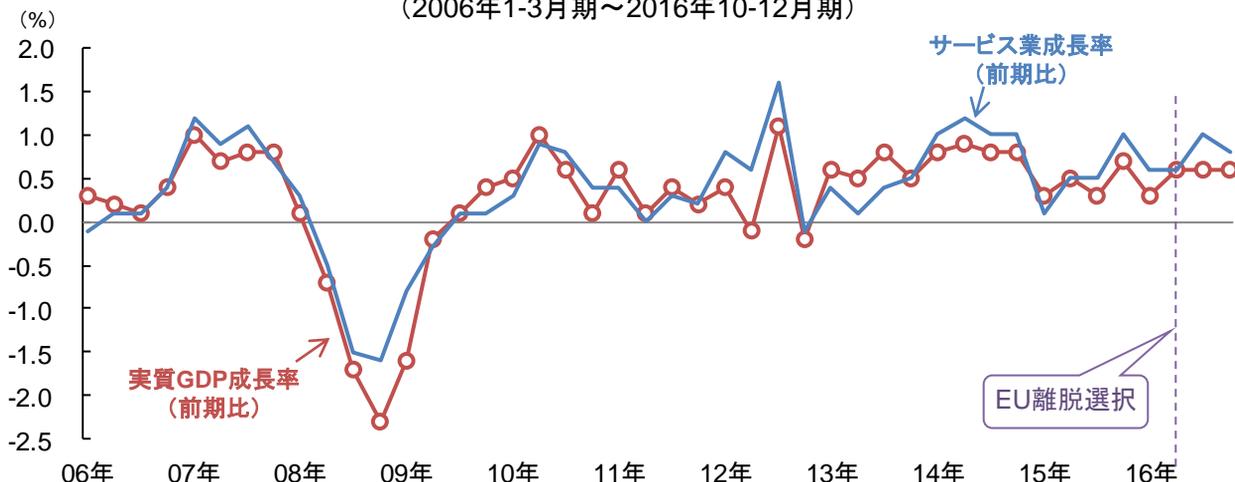
英政府統計局が1月26日に発表した2016年10-12月期の実質GDP成長率(速報値)は、前期比+0.6%となりました。市場予想の+0.5%をわずかに上回り、堅調さを保っています。2016年通年のGDP成長率は+2.0%となり、2015年の+2.2%から小幅に鈍化しましたが、主要先進国の中では高い成長率となりました。

堅調な成長率を維持した主な要因としては、家計消費の力強さを背景に、GDPの8割近くを占めるサービス業が前期比+0.8%と好調だったことが挙げられます。反面、11月のブラック・フライデー(第4金曜日)セールスの反動などにより、12月の小売売上高(除く自動車燃料)は前月比-2.0%と大きく落ち込んだものの、10-12月期の小売売上高は前期比+1.2%と堅調を維持し、EU(欧州連合)離脱選択に伴う不透明感が消費者に与える影響は、今のところ限定的とみられています。ただし、英ポンド安により輸入物価が押し上げられ、今後のインフレ率は3%を超えるとの予測もあり、実質所得の減少を通じて消費が抑制されるおそれもあります。

英政府は、EU離脱通知の承認を求める法案を議会に提出しており、EU離脱に向けた準備を進めています。EU離脱交渉の進捗が同国の経済に与える影響について、今後も注視していく必要があります。

英国の実質GDP成長率とサービス業成長率

(2006年1-3月期～2016年10-12月期)



(信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成)

※上記は過去のものであり、将来を約束するものではありません。

■当資料は、日興アセットマネジメントが市況等についてお伝えすることを目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。